

令和 5 年 沼津市総合防災訓練 木瀬川自治会

9 月 3 日(日曜日) 実施 8:00~10:00 参加人数:278 名 (中学生 15 名・高校生・9 名)

午前 8 時、町内放送にて「防災訓練」実施を告知。本部は公民館。避難場所の責任者である協議員は、決められた避難場所で待機した(7カ所)。9 時 03 分「大津波警報」発表 → 9 時 10 分避難開始。各住民は指定避難場所に避難した。協議員は避難者名簿を作成し、津波・崖崩れ・道路崩壊などの危険区域を確認し、避難要支援者の避難介助者を確認し情報の収集を行った。その後、伝達訓練を行い、情報班長は避難人数を地区センターに報告し訓練を終了した。



潮音寺



森岡医院駐車場



八幡神社



公民館前・本部

① 防災対策で重要な「自助」とは？

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「**自助**」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「**共助**」、国や地方公共団体などが取り組む「**公助**」が重要だと言われています。

その中でも基本となるのは「**自助**」。自らの命は自らが守る意識を持ち、一人ひとりが自分の身の安全を守ること。防災対策には、十分とか絶対大丈夫というものはありません。**一人ひとりが平時からハザードマップを確認し自宅の災害リスクを認識**するなど家族で日頃から防災にたいする意識を高めることが重要です。

② 地震が発生したときに身を守るには？

地震はいつどこで発生するか分かりませんが、気象庁の「**緊急地震速報**」を活用することによって、強い揺れが来ることを事前にキャッチし、身の安全を守る行動をとることができます。緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまで数秒から数十秒のわずかな時間しかありません。**あわてずに身の安全を確保するようにしましょう。**

③ 普段の心がけ

(イ) 天気予報や気象状況に気をつける。(ロ) 非常食や持ち出す物などを準備しておく。非常食には調理の手間がかからず水もあまり使用しないもの(レトルト食品や缶詰等)を選びます。飲料水も確保し、懐中電灯・携帯ラジオ・乾電池も忘れずに。(ハ) 避難場所や避難路を確認しておく。(ニ) 大雨や台風に備えて家の周りを点検整備しておく。

④ 非難する時は、早めに、みんなと一緒に行動する。

⑤ 持ち出す荷物はなるべく少なく、身軽に動けることを優先する。

⑥ お年寄りや子供を優先し、落ち着いて行動する。

※ 防災訓練の時、非難場所・連絡先・待ち合わせ場所などを家族で話し合い、防災意識を高め、各自治会の防災訓練には積極的に参加しましょう！